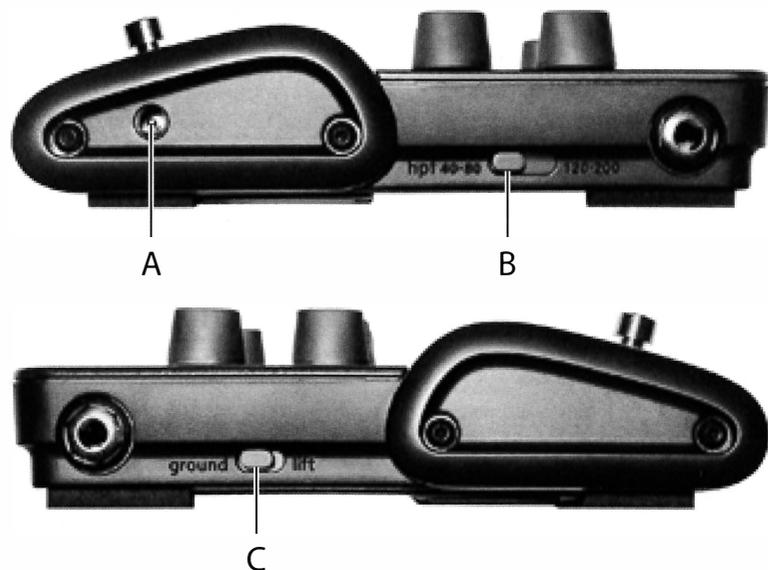


## サイドパネル



### A DC インプット

DC 電源用のインプットは、標準的なエフェクトペダルによく使われる 2mm プラグ用です。一般的なエフェクトペダル用の DC アダプターが使用できます。電圧が 7.5VDC 以上 12VDC 以内、電流 100mA 以上の規格の DC アダプターをご使用下さい。

注) DC インプットはセンターマイナス (-) 仕様になっていますので、使用する DC アダプターもセンターマイナスのものをご使用下さい。

### B HPF ハイパスフィルター

ハイパスフィルターは、演奏される状況によっては不必要な低音域を低減させるスイッチです。hpf スイッチは 4段階になっており、40Hz、80Hz、120Hz、200Hz が選べます。通常は 40Hz で十分ですが、他の楽器と混ざった時に低音域がかぶりすぎる場合は、他のポジションを試して下さい。

### C gnd lift グランドリフトスイッチ

このスイッチを lift 側にするとグラウンドが絶縁され、複数の機器を接続した時に起こるグラウンドループのノイズを回避できます。

### \*バッテリー交換について

電池が消耗したら、バッテリーケースのふたにあるタブを持ち上げ、中の電池を取り出し、新品の 9V 電池と交換して下さい。バッテリーのプラスマイナスと、ケース内のプラスマイナスを合わせ、逆に入れないように注意して下さい。

品質向上のため予告なく仕様・価格等が変更になる場合があります。

L.R.Baggs 製品に関しては最寄りのお店にお問い合わせになるか、ホームページ [www.jes1988.com](http://www.jes1988.com) をご参考にして下さい。

L.R.Baggs 日本総代理店:  JES International, Inc. 470-0112 愛知県日進市藤枝町小山711-1 TEL:0561-72-9801

L R B A G G S P I C K U P S

## SESSION ACOUSTIC D.I. USER'S GUIDE

L.R. Baggs

このたびは Session Acoustic D.I. (セッション・アコースティック・ディーアイ) をお買い上げ頂きありがとうございます。この Session Acoustic D.I. は一流スタジオで録音され整えられたサウンドを獲得できるプリアンプ D.I. です。L.R.Baggs 製品ビデオを撮影したナッシュビルのレコーディングスタジオでの体験を元に、そのスタジオプロセスを再現する回路を開発。一流スタジオで一流エンジニアが整えたサウンドに匹敵する音質を、ライブでも簡単な操作だけで得られる、今までにないプリアンプ D.I. です。

性能を十二分に楽しんでいただく為に、ご使用前に、この取り扱い説明書をよくお読みになり、最適なセッティングでご利用下さい。

## クイックスタート

- 9V バッテリーを本体に入れるか、一般の 9VDC アダプター (100mV 以上、センターマイナス仕様) を接続します。もしくは、D.I. ジャックに接続したケーブルを通して、48V ファントム電源を供給します。9V で駆動されている場合、オレンジの LED が、48V ファントムで駆動されている場合は、グリーン LED が点灯します。
- ギターを Session Acoustic D.I. 右側のインプットジャックに接続すると電源が入ります。出力ケーブルを左側のアウトプットジャックあるいは、バランス出力用 XLR ジャックに接続します。
- Gain ノブと VU メーターを使い、入力レベルを調節します。正しい調整法は、次ページをお読みください。
- アウトプットからのケーブルをアンプ又は P.A. に接続して音を出します。各機能についての詳しい情報は、以降の説明をお読み下さい。

## 仕様

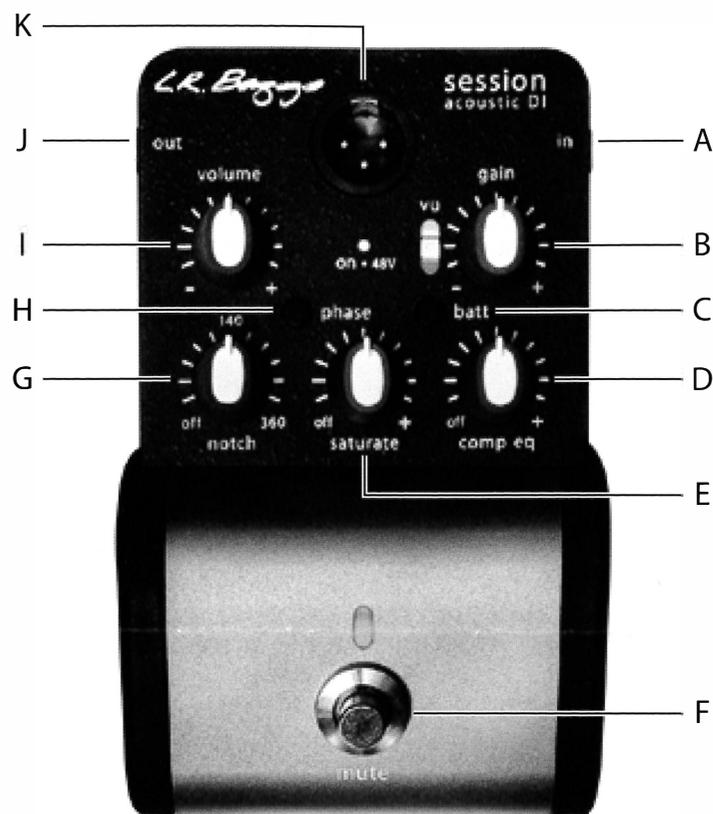
|              |   |  |
|--------------|---|--|
| インプット:       | インプットインピーダンス: 10M $\Omega$<br>プリアンプゲイン: -12dB to +26dB<br>インプットレベル: -25dBv to +1.8dBv<br>(0.53Vrms to 1.23Vrms) | パワー: DC 消費電力: 最大 0.65W@9V<br>DC 電流: 3mA  |
| D.I. アウトプット: | レベル: -1dBv(0.88Vrms) バランス<br>インピーダンス: 600 $\Omega$ (トランス変換型)  | 電源: 対応電圧: 7.5VDC(最小) - 12VDC(最大)<br>9V バッテリーもしくは外部 DC アダプター<br>*適合アダプター規格: 電圧 7.5VDC 以上<br>12VDC 以内、電流 100mA 以上<br>(もしくは 1W) センターマイナス仕様<br>*アダプターは、商品に含まれておりません。<br>*バッテリー寿命: 125 時間<br>ファントムパワー: 24VDC (最小) |
| ラインアウト:      | レベル: -1dBv(0.88Vrms) アンバランス<br>インピーダンス: 200 $\Omega$  |  |

ハイパスフィルター: 40Hz, 80Hz, 120Hz, 200Hz

寸法 158(L) x 101(W) x 45(D)mm

重量: 680g

## フロントパネル



### A インプット

1/4" フォンタイプの入力ジャック、オールディスクリートのアンバランス/モノラル入力です。このジャックが本体の電源スイッチも兼ねていますので、ギターケーブルのプラグを接続すると本体の電源がオンになります。使用しない時はこのジャックからプラグを抜いておいて下さい。プラグを抜き差しする時は、ポップ音を避けるため、アンプやPAの音量を落として下さい。

### B ゲイン

ゲイン調整は、良い音質を得るための最も重要な要素の一つです。ゲインが低すぎると音質に悪影響が出て、ノイズがかぶりがちになります。逆にゲインが高すぎると音が歪んでしまいます。クリップメーターを見ながら適正レベルにしてください。

＜ゲインを正しく調整する方法＞

ギターにボリュームノブがある場合、調整の前にフルボリュームにしてください。

まず、ゲインノブを一番左に回してください。ギターを弾きながらノブを回していき、最も強く弾いた時にVUメーターの赤のLEDが時々点灯する処まで上げて下さい。普通に弾いて黄色のLEDが常に点灯するレベルが最適です。

### C バッテリーチェック

battと書かれたボタンを押すことで、電池の残量がどのくらいなのかを確認できます。VUメーターがバッテリーチェッカーとしても作動します。バッテリーに十分電力がある場合、全てのLEDが点灯し、約125時間使うことができます。2つのLEDが点灯した時は、バッテリーは十分あります。黄色と赤色のLEDの2つのみが点灯する時は、バッテリーの残りは通常の使用において残り30時間くらいです。赤色のLED1つのみが点灯するようでしたら、バッテリーが切れかけていますので、すぐに交換して下さい。バッテリーの寿命を伸ばすためにも、Session Acoustic D. を使用しない時は、プラグからケーブルを抜いてください。

### D コンプEQ

絶妙にセッティングされた3つの狭い周波数帯ごとにコンプレッサーが作用し、あばれがちな音域を抑え、全体のトーンをより良いバランスにします。ロー、ミッド、ハイ、それぞれのコンプレッサーは、「タッチセンシティブEQ」としても機能し、弾き方によって即座に反応します。強く弾けば強く効果が掛かり、弱く弾けば弱く掛かります。ノブを左いっぱい回せば効果がなくなり、時計方向に回していくほど効果が高まります。かけ過ぎると音が大人しくなり過ぎますので注意して下さい。

### E サチュレート

Session Acoustic D. I. のアナログサチュレーションは、アコースティックギターの音を明瞭化します。音に温かみと立体感それに心地よい倍音成分を与えます。一方で音をスムーズにし、PAオペレーターが作業しやすく整えつつもハリのある音として出力されます。ノブを左いっぱい回せば効果がなくなり、時計方向に回していくほど効果が高まります。かけ過ぎると音が大人しくなり過ぎますので注意して下さい。

### F ミュート

フットスイッチを踏むと、XLRアウト、1/4" フォンアウトの両方がミュートされます。ミュート中はオレンジLEDが点灯します。もう一度踏むと解除されます。

### G ノッチ

フィードバック(ハウリング)や、リングング(ある音だけが大きく鳴る現象)を起こしている周波数(60Hzから320Hzの間で調整)のみをカットし、アコースティックギターのフィードバックを軽減します。まず、ギターをVenue D. Iとアンプにつなぎ音を出しながら、フィードバックが起き始める場所、あるいは他の音に比べて鳴りすぎる音などを探ります。その現象が起きているのを確認しながら、notchノブを左から右に少しずつ回していきます。問題のある周波数に合致すると、フィードバックが突然止まります。

### H フェイズ

このボタンを押すと、信号の位相が反転します。通常はどちらかの位相の方が音も良く、フィードバックも起こしにくいようです。演奏する場所ごとに、どちらの位相が良いか試してみてください。

### I ボリューム

全体の音量を調節するマスターボリュームで、1/4" フォンジャック及びXLRアウト両方に効きます。

### J アウトプット

本体向かって左側にある1/4" フォンジャックが出力ジャックです。アンバランス型ラインレベルの信号ですから、ほとんどのアンプ、機器に出力できます。フルレンジをカバーするPAシステムか高性能のアコースティックアンプとの接続をおすすめします。

### K XLR アウトプット

バランスシグナルの出力ジャックです。マイク用XLRケーブルを使い、ミキサーのマイク入力へ接続します。